

# 新「能代市」の誕生を思い出して！

## 〜一体感づくりのために〜

二ツ井町には、県立自然公園の「きみまち阪」、原生林の「七座山」、白神山地に接する「ふたつ白神郷土の森」、「日本一の杉」など、豊かな自然を象徴するスポットがあります。

「日本一の杉」は「仁鮎水沢スギ植物群落保護林」の中にあり、一步、足を踏み入れると、ナラやカエデの広葉樹も混ざり壮大な樹林となっています。圧倒的なスケールと静寂は日常生活にはない特別な雰囲気を感じます。

### 第2回 保護林の探訪!!

「日本一の杉」があります！

きみまち観光ガイドの会長として活躍する伊藤徳治さんにお話を伺い、案内していただきました。お客さんは関東方面が多く、最近はほとんどが4〜5人の少グループです。一期一会の気持ちで



きみまち観光ガイド会長 伊藤徳治さん

接していますが、お客さんから教えようものが実に多いと感じます。事前に勉強し、本物の自然を求めて来ます。素朴な郷土料理や新鮮・安全な食にも強い関心を持ち、地方の温かさやいやしも求めています。恋文コンクールの受賞者を第一回から案内させてもらっていますが、今でもその方々とお付き合いが続いています。この活動で、たくさんの人を知る機会に恵まれました。これからも町のため、みんなのために役立ちたいです。

能代、二ツ井は昔から仲間と想っています。井坂直幹が興した木材事業、戦後の復興材など、ほとんどの木は二ツ井から能代に運びました。山の木を通して、地域がつながっていました。その山が保護林として今も残っています。能代の方々に、ぜひこの素晴らしい宝を見て、知ってほしいし、いろいろな交流をしていきたいと思っています。

能代、二ツ井は昔から仲間と想っています。井坂直幹が興した木材事業、戦後の復興材など、ほとんどの木は二ツ井から能代に運びました。山の木を通して、地域がつながっていました。その山が保護林として今も残っています。能代の方々に、ぜひこの素晴らしい宝を見て、知ってほしいし、いろいろな交流をしていきたいと思っています。



## 戦士(一) 「長嶺武雄」

# のーろ道遙

# 歴史と民俗のあいだ

75

駆け込み寺で有名な鎌倉の東慶寺は、岩波茂雄や西田幾多郎などの文化人の墓が多いことでも有名です。その墓地を奥にたどっていくと、思いがけなく見つけたのは「振武院天外雄飛居士」とある戦死者の墓でした。その側面を見ると「昭和十九年七月二十三日於能代航空殉死 行年二十一歳」とあります。

次兄の秀雄さんに連絡が取れてお話を伺うと、武雄さんは東雲飛行場で訓練中、着陸直後に後続機に追突されて殉死したとのことでした。追突した兵士に配慮して多くを語りませんでした。武雄さんは陸軍航空士官学校を卒業した前途有為の青年で、長兄は陸軍少将、次兄秀雄さんは終戦後に防衛大学の教授をされた軍人一家でした。沖縄の出身だそうです。

東雲飛行場では多くの若い命が失われましたが、戦場で戦うことを理想としていた若者の命を奪うこともありました。武雄さんは戦士になることを決めてからの日誌に「大死何日目」と書いたそうです。常に死と向き合う苦悩と、その克服を期する日々でした。

若者をこのような苦悩の心境に追い込んだ戦争というものを認めることはできませんが、そのなかで真摯に現実に向き合った若者の死との遭遇は、感涙を誘います。(古内)

